

2026

4月

Okinawa Convention & Visitors Bureau

OCVB News



【観光客の皆様向け情報】

■ OCVBホームページ

<https://www.ocvb.or.jp/>

■ 沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語

<https://www.okinawastory.jp/>



ごあいさつ



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
会長 浜田 京介

平素より沖縄観光振興に格別なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の沖縄観光は、インバウンド需要の堅調な推移に加え、データに基づく戦略的な国内プロモーションを展開し、持続可能な観光地としての基盤を強固なものとしてきた一年となりました。

令和8年度は、沖縄サステナブルツーリズム宣言に基づき、県民・事業者・旅行者の三者協働により、「世界から選ばれる持続可能な観光地」の実現に向け取り組んでまいります。特に「首里城正殿の復元」や「世界自然遺産登録5周年」といった節目を最大限に活用し、国内外からの誘客と受入体制の強化を加速させてまいります。

国内市場においては、人流データの分析に基づく戦略的な誘客の深化や、鹿児島県との連携、エシカルトラベルの推進によりリピーター創出と消費単価の向上を図ります。また、滞在時間の延長を促す「もう一泊」の促進により、特定の曜日や時間帯に集中する観光需要を分散させ、平準化に取り組んでまいります。

海外市場については、「首里城正殿の一般公開」を復興のシンボルとして発信し誘客拡大を図るほか、アジア圏や欧米豪の市場に向けた取り組みを強化してまいります。また、クルーズについては、中華圏に加え幅広い市場からの誘客を図るとともに、フライ&クルーズやエクスペディション船といった質の高いクルーズの誘致を推進してまいります。あわせて、下船後の交通手段の確保やマナー啓発、県内での消費促進など受入環境の整備にも取り組んでまいります。

さらに、教育旅行やMICE分野における需要創出、県内観光協会やDMOとの連携強化による観光推進体制の充実を図るとともに、「宿泊税」の円滑な導入に向けた準備を進めるなど、沖縄観光を支える基盤の強化にも取り組んでまいります。

本年も、皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年4月

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（25年4月～2月実績、3月～5月見通し）

	3月	4月	5月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉

	対前年 105%以上水準
	対前年 100%以上-105%未満
	対前年 95%以上-100%未満
	対前年 90%以上-95%未満
	対前年 90%未満水準

		前期計							年度計	4月(予測)		5月(予測)		3月-5月
		11月(実績)	12月(実績)	1月(実績)	2月(実績)	3月(予測)	下期計	4月(予測)		5月(予測)				
当年度	空路	国内	3,965,800	661,000	645,900	599,500	638,700	740,000	4,006,400	7,972,200	660,000	620,000	2,020,000	
	海外	1,057,600	157,300	162,700	169,000	173,100	177,000	1,020,800	2,078,400	175,000	176,000	528,000		
	合計	5,023,400	818,300	808,600	768,500	811,800	917,000	5,027,200	10,050,600	835,000	796,000	2,548,000		
前年度比	海路	国内	29,200	1,800	2,300	1,600	2,100	6,400	18,100	47,300	3,400	4,200	14,000	
	海外	482,600	74,400	51,900	65,700	46,300	58,000	375,500	858,100	73,000	32,000	163,000		
	合計	511,800	76,200	54,200	67,300	48,400	64,400	393,600	905,400	76,400	36,200	177,000		
	空路海路合計	5,535,200	894,500	862,800	835,800	860,200	981,400	5,420,800	10,956,000	911,400	832,200	2,725,000		
	国内合計	3,995,000	662,800	648,200	601,100	640,800	746,400	4,024,500	8,019,500	663,400	624,200	2,034,000		
	海外合計	1,540,200	231,700	214,600	234,700	219,400	235,000	1,396,300	2,936,500	248,000	208,000	691,000		
	国内	104.1%	104.5%	105.8%	106.1%	105.7%	103.9%	105.1%	104.6%	106.8%	105.4%	106.0%		
	海外	144.1%	133.3%	124.3%	113.9%	132.8%	128.3%	129.3%	136.5%	104.0%	105.6%	121.4%		
	合計	110.6%	109.0%	109.1%	107.7%	110.5%	107.8%	109.2%	109.9%	106.2%	105.4%	108.9%		
	国内	149.7%	40.9%	127.8%	94.1%	105.0%	173.0%	92.8%	121.3%	113.3%	33.1%	76.1%		
	海外	121.0%	131.9%	70.9%	96.3%	103.6%	99.3%	101.6%	111.7%	78.2%	42.7%	91.6%		
	合計	122.3%	125.3%	72.3%	96.3%	103.6%	103.7%	101.2%	112.1%	79.3%	41.3%	90.1%		
	空路海路合計	111.6%	110.3%	105.7%	106.7%	110.1%	107.5%	108.6%	110.1%	103.3%	98.8%	107.4%		
	国内合計	104%	104%	106%	106%	106%	104%	105%	105%	107%	104%	106%		
	海外合計	136%	133%	105%	108%	125%	120%	120%	128%	95%	86%	113%		

■概況

国内入域：

- ・沖縄の魅力発信や旅行需要の高まりを背景に、国内線は好調に推移している。年度では国内空路入域客数は、過去最高であった2024年度（762万人）を上回る水準で推移する見込みである。
- ・3月は卒業旅行を中心とした個人旅行の需要が旺盛であり、4月以降も旅行商品のタイムセール等の影響による予約の早期化が進んでいることから、予約状況は堅調に推移している。
- ・ゴールデンウィークは、特に休日が連続する5月2日以降は需要が高まっており、好調に推移している。

海外入域：

- ・空路は台湾および韓国を中心に需要が好調に推移しており、海外空路入域客数は過去最高であった2018年度（180万人）を上回る水準で推移する見込みである。
- ・3月29日以降の夏ダイヤでは、那覇空港および石垣空港、下地島空港発着の国際線の新規就航・増便を予定しており、さらなる入域者数の増加が見込まれる。（詳細は、次ページご参照）
- ・海路は台湾・香港発のクルーズを中心に堅調に推移しているものの、5月については寄港回数が減少しているため入域者数も前年より減少している。
- ・一方、中国の渡航自粛要請に伴い、空路における団体旅行のキャンセルや一部路線の運休、クルーズ船寄港のキャンセルなどの影響が生じている。

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（25年4月～2月実績、3月～5月見通し）

3月

空路

(国内) 74万人 (25年3月対比 103.9%) と見込む。

(海外) 17.7万人 (25年3月対比 128.3%) となる見通し。

台中=那覇路線

(新)タイガーエア：3月30日～ 新規就航(週2便 那覇着 月金/那覇発 火木)

香港=那覇路線

香港エクスプレス：3月29日～ 1便増便(1日2便→3便)

上海=那覇路線

中国東方航空：3月29日～ 週3便から週2便へ減便

北京=那覇路線

中国国際航空：3月29日～10月24日 週2便から運休

香港=石垣路線

香港エクスプレス：3月29日～ 運航再開(デイリー)

仁川=石垣路線

ジンエアー：3月29日～ 週5便からデイリーへ増便

仁川=下地島路線

ジンエアー：3月29日～ 週5便からデイリーへ増便

海路

(国内) 6,400人 (25年3月対比 173%) の見通し。

(海外) 5.8万人 (25年3月対比 99.3%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：25本 (25年3月：23本)

国内クルーズ：3本(那覇・東京・博多発) 那覇発着のフライ&クルーズ1本含む

海外クルーズ：22本(台湾/基隆・香港・中国/上海・マニラ・シンガポール) 石垣港・平良港のみ寄港5本。

4月

空路

(国内) 66万人 (25年4月対比 106.8%) と見込む。

(海外) 17.5万人 (25年4月対比 104%) となる見通し。

高雄=那覇路線

チャイナエアライン：4月17日～ 週6便からデイリーへ増便(※便名別)

シンガポール=那覇路線

スクート：4月2日～ 週3便から週4便(月水木日)へ増便

釜山=下地島路線

(新)ジンエアー：4月2日～ 新規就航(週2便 木日)

海路

(国内) 3,400人 (25年4月対比 113.3%) となる見通し。

(海外) 7.3万人 (25年4月対比 78.2%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：26本 (25年4月：30本)

国内クルーズ：2本(東京発)

海外クルーズ：24本(台湾/基隆・香港・シンガポール・LA) 石垣港・平良港のみ寄港は6本。

5月

空路

(国内) 62万人 (25年5月対比 105.4%) と見込む。

(海外) 17.6万人 (25年5月対比 105.6%) となる見通し。

海路

(国内) 4,200人 (25年5月対比 33.1%) となる見通し。

(海外) 3.2万人 (25年5月対比 42.7%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数：14本 (25年5月：22本)

国内クルーズ：2本(東京・横浜発)

海外クルーズ：12本(台湾/基隆・香港・中国/上海)

石垣港・平良港のみ寄港は2本。

(空路) 国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

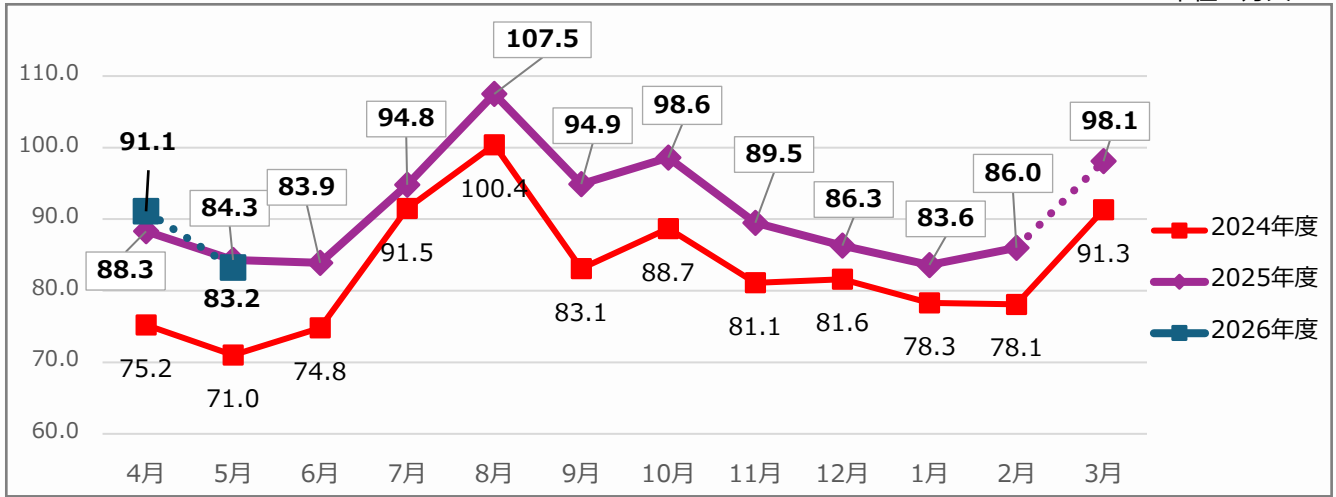
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況について

2. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客 (合計)

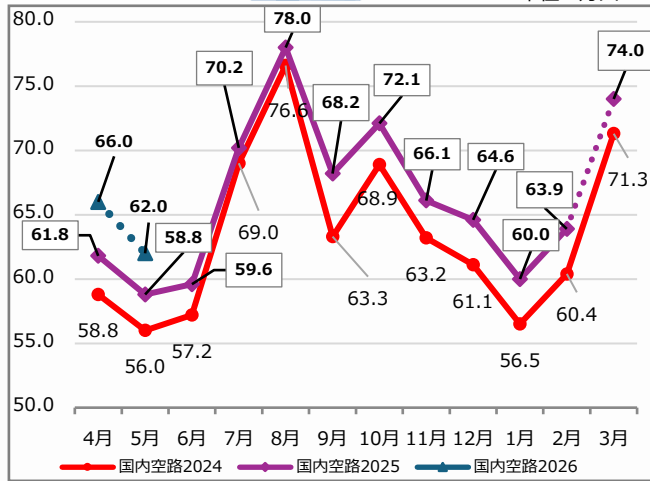
単位：万人



入域観光客 (空路)

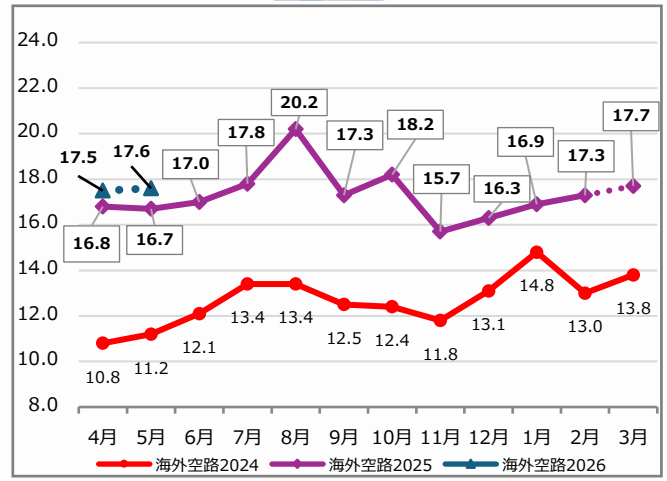
国内

単位：万人



海外

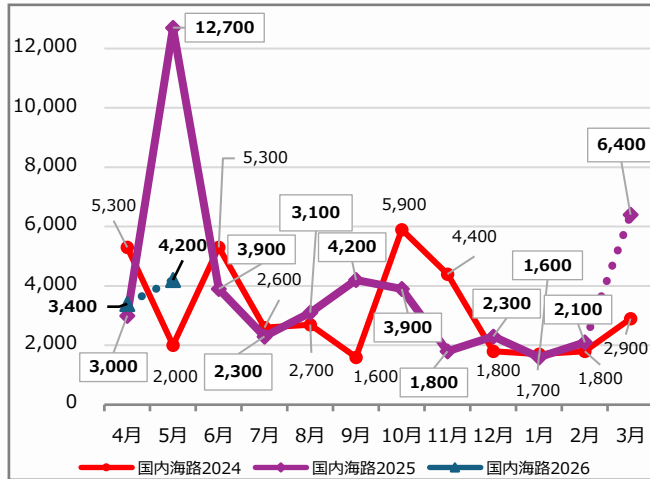
単位：万人



入域観光客 (海路)

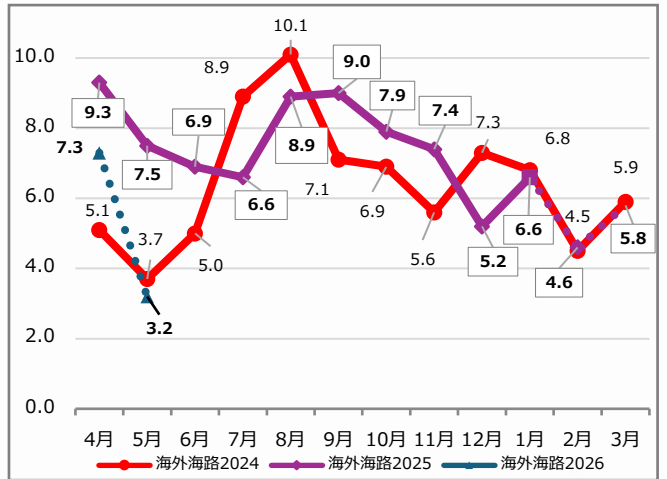
国内

単位：人



海外

単位：万人



1. 沖縄入域観光客数

合計	総計			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	5,535,200	111.6%	574,400	4,960,800
12月	862,800	105.7%	46,400	816,400
10-12月計	2,743,400	109.1%	228,900	2,514,500
1月	835,800	106.7%	52,400	783,400
2月	860,200	110.1%	78,800	781,400
下期計	4,439,400	88.9%	-552,500	4,991,900
年度計	9,974,600	100.2%	21,900	9,952,700

空路/ 海路別	総計／空路				総計／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	5,023,400	110.6%	481,000	4,542,400	511,800	122.3%	93,400	418,400
12月	808,600	109.1%	67,200	741,400	54,200	72.3%	-20,800	75,000
10-12月計	2,529,900	109.8%	225,700	2,304,200	213,500	101.5%	3,200	210,300
1月	768,500	107.7%	55,000	713,500	67,300	96.3%	-2,600	69,900
2月	811,800	110.5%	77,100	734,700	48,400	103.6%	1,700	46,700
下期計	4,110,200	89.3%	-492,700	4,602,900	329,200	84.6%	-59,800	389,000
年度計	9,133,600	99.9%	-11,700	9,145,300	841,000	104.2%	33,600	807,400

国内	国内客／合計			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	3,995,000	104.4%	166,800	3,828,200
12月	648,200	105.9%	35,900	612,300
10-12月計	2,036,200	104.8%	92,600	1,943,600
1月	601,100	106.1%	34,300	566,800
2月	640,800	105.7%	34,400	606,400
下期計	3,278,100	85.5%	-554,900	3,833,000
年度計	7,273,100	94.9%	-388,100	7,661,200

空路/ 海路別	国内客／空路				国内客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	3,965,800	104.1%	157,100	3,808,700	29,200	149.7%	9,700	19,500
12月	645,900	105.8%	35,400	610,500	2,300	127.8%	500	1,800
10-12月計	2,028,200	105.0%	96,700	1,931,500	8,000	66.1%	-4,100	12,100
1月	599,500	106.1%	34,400	565,100	1,600	94.1%	-100	1,700
2月	638,700	105.7%	34,300	604,400	2,100	105.0%	100	2,000
下期計	3,266,400	85.7%	-547,100	3,813,500	11,700	60.0%	-7,800	19,500
年度計	7,232,200	94.9%	-390,000	7,622,200	40,900	104.9%	1,900	39,000

海外	外国客／合計			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	1,540,200	136%	407,600	1,132,600
12月	214,600	105%	10,500	204,100
10-12月計	707,200	124%	136,300	570,900
1月	234,700	108%	18,100	216,600
2月	219,400	125%	44,400	175,000
下期計	1,161,300	100%	2,400	1,158,900
年度計	2,701,500	118%	410,000	2,291,500

空路/ 海路別	外国客／空路				外国客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	1,057,600	144%	323,900	733,700	482,600	121%	83,700	398,900
12月	162,700	124%	31,800	130,900	51,900	71%	-21,300	73,200
10-12月計	501,700	135%	129,000	372,700	205,500	104%	7,300	198,200
1月	169,000	114%	20,600	148,400	65,700	96%	-2,500	68,200
2月	173,100	133%	42,800	130,300	46,300	104%	1,600	44,700
下期計	843,800	107%	54,400	789,400	317,500	86%	-52,000	369,500
年度計	1,901,400	125%	378,300	1,523,100	800,100	104%	31,700	768,400

2. 沖縄離島入域観光客数／八重山、宮古、久米島、座間味村、渡嘉敷村

参考数値
 ※数値引用元は各地域名横に記載
 ※各数値は、引用元が定めた統計手法により算出されているため、参考値としてご覧ください。また、各離島の数値と沖縄県総計とは一部重複している部分もあります。
 ※数値公表のタイミングはそれぞれ異なります。空欄部分は、現在未発表です。

〈沖縄離島の入域観光客数〉

	沖縄県入域観光客数 総計 沖縄県観光政策課			
	2025	前年比	前年増減	2024
上期計	5,535,200	111.6%	+574,400	4,960,800
10-12月計	2,743,400	109.1%	+228,900	2,514,500
1月	835,800	106.7%	+52,400	783,400
2月	860,200	110.1%	+78,800	781,400
1-3月計	1,696,000	68.5%	△781,400	2,477,400
下期計	4,439,400	88.9%	△552,500	4,991,900
年度計	9,974,600	100.2%	+21,900	9,952,700

	●八重山 沖縄県八重山事務所			
	2025	前年比	前年増減	2024
上期計	809,731	109.6%	+70,608	739,123
10-12月計	380,611	108.3%	+29,071	351,540
1月	120,456	126.2%	+25,035	95,421
2月	0	0.0%	△87,852	87,852
1-3月計	120,456	38.2%	△195,254	315,710
下期計	501,067	75.1%	△166,183	667,250
年度計	1,310,798	93.2%	△95,575	1,406,373

	●宮古 宮古島市観光商工部観光商工課			
	2025	前年比	前年増減	2024
上期計	665,270	105.8%	+36,414	628,856
10-12月計	319,921	109.7%	+28,177	291,744
1月	94,052	94.2%	△5,761	99,813
2月	0	0.0%	△75,874	75,874
1-3月計	94,052	34.5%	△178,219	272,271
下期計	413,973	73.4%	△150,042	564,015
年度計	1,079,243	90.5%	△113,628	1,192,871

	●久米島 久米島町観光協会			
	2025	前年比	前年増減	2024
上期計	45,460	104.5%	+1,972	43,488
10-12月計	24,205	105.6%	+1,289	22,916
1月	7,372	98.6%	△107	7,479
2月	0	0.0%	△7,490	7,490
1-3月計	7,372	33.3%	△14,751	22,123
下期計	31,577	70.1%	△13,462	45,039
年度計	77,037	87.0%	△11,490	88,527

	●座間味村 座間味村役場産業振興課			
	2025	前年比	前年増減	2024
上期計	85,911	120.7%	+14,717	71,194
10-12月計	21,030	110.6%	+2,014	19,016
1月	2,845	77.2%	△842	3,687
2月	4,620	113.0%	+532	4,088
1-3月計	7,465	48.7%	△7,850	15,315
下期計	28,495	83.0%	△5,836	34,331
年度計	114,406	108.4%	+8,881	105,525

	●渡嘉敷村 渡嘉敷村商工観光課			
	2025	前年比	前年増減	2024
上期計	97,502	117.5%	+14,550	82,952
10-12月計	31,043	124.2%	+6,051	24,992
1月	3,707	88.4%	△487	4,194
2月	4,128	81.9%	△911	5,039
1-3月計	7,835	48.1%	△8,438	16,273
下期計	38,878	94.2%	△2,387	41,265
年度計	136,380	109.8%	+12,163	124,217

3. 入域数／航路別入域実績 (2025年度)

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

国内 海外	12月		1月		2月		4~2月累計(速報値)				4~12月累計(確定値)			
	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	入域数シェア	対前年増減数	対前年増減数	入域数	入域数シェア	対前年増減数	対前年増減数
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	ランキング	(人)	(%)	(人)	ランキング
札幌	3,900	0	4,100	0	3,800	△100	45,000	0.5%	+100	18	37,100	0.4%	+100	18
仙台	5,100	△100	4,500	△800	4,300	△1,200	51,000	0.5%	△2,900	26	42,200	0.5%	△2,900	26
福島	100	100	200	100	0	0	800	0.0%	+300	17	600	0.0%	+300	17
新潟	3,500	600	600	△1,300	800	△1,600	16,300	0.2%	+2,700	10	14,900	0.2%	+2,700	10
富山	100	0	100	100	0	△100	300	0.0%	+100	18	200	0.0%	+100	18
小松	3,300	400	2,600	0	3,100	100	35,400	0.4%	+2,200	13	29,700	0.4%	+2,200	13
東京	323,200	24,800	294,500	20,100	322,600	28,000	3,558,000	35.7%	+158,600	1	2,940,900	35.5%	+158,600	1
茨城	3,500	△100	3,500	200	3,300	△200	36,400	0.4%	△2,000	24	29,600	0.4%	△2,000	24
静岡	3,300	400	2,700	600	3,300	500	33,900	0.3%	+10,800	5	27,900	0.3%	+10,800	5
名古屋	56,200	4,700	54,500	6,500	57,800	3,600	630,000	6.3%	+48,900	3	517,700	6.3%	+48,900	3
伊丹	44,500	1,300	41,000	2,900	41,600	3,100	500,500	5.0%	+34,800	4	417,900	5.0%	+34,800	4
関西	55,100	△2,100	53,700	△1,100	56,700	△3,900	711,200	7.1%	+3,700	7	600,800	7.3%	+3,700	7
神戸	26,200	1,600	25,300	1,700	27,200	1,400	309,900	3.1%	+4,900	6	257,400	3.1%	+4,900	6
岡山	3,400	200	3,200	100	3,500	△200	41,200	0.4%	+1,400	15	34,500	0.4%	+1,400	15
広島	4,500	△900	4,100	△300	4,000	△1,400	49,500	0.5%	△2,000	24	41,400	0.5%	△2,000	24
岩国	3,100	300	3,200	600	3,200	200	36,800	0.4%	+3,400	8	30,400	0.4%	+3,400	8
高松	3,600	△200	3,600	△100	3,100	△600	42,300	0.4%	△6,600	27	35,600	0.4%	△6,600	27
松山	3,200	400	3,300	400	3,200	200	36,500	0.4%	+2,700	10	30,000	0.4%	+2,700	10
高知	200	△100	100	0	200	200	500	0.0%	+100	18	200	0.0%	+100	18
福岡	83,900	4,700	78,000	5,000	80,800	6,100	920,200	9.2%	+57,000	2	761,400	9.2%	+57,000	2
北九州	0	0	0	0	0	0	100	0.0%	+100	18	100	0.0%	+100	18
長崎	0	0	100	0	0	0	100	0.0%	+0	23	0	0.0%	+0	23
熊本	3,400	△300	3,900	300	3,500	100	39,500	0.4%	+1,400	15	32,100	0.4%	+1,400	15
大分	100	100	0	0	0	0	100	0.0%	+100	18	100	0.0%	+100	18
宮崎	3,100	0	3,200	0	3,300	0	35,600	0.4%	+1,700	14	29,100	0.4%	+1,700	14
鹿児島	11,100	△200	10,900	△400	11,200	500	131,100	1.3%	+3,100	9	109,000	1.3%	+3,100	9
その他	600	300	200	△300	300	△300	9,800	0.1%	+2,400	12	9,300	0.1%	+2,400	12
国内計	648,200	+35,900	601,100	+34,300	640,800	+34,400	7,272,000	72.9%	+327,000		6,030,100	72.8%	+327,000	
台湾	85,100	+22,500	0	+0	0	+0					926,600	11.2%	+239,200	
韓国	57,700	+12,000	0	+0	0	+0					433,500	5.2%	+110,900	
中国本土	7,500	△16,300	0	+0	0	+0					330,500	4.0%	+88,800	
香港	21,900	△2,600	0	+0	0	+0					173,500	2.1%	+32,500	
アメリカ	3,300	△2,400	0	+0	0	+0					37,000	0.4%	+400	
カナダ	1,200	△600	0	+0	0	+0					9,100	0.1%	+300	
イギリス	700	△400	0	+0	0	+0					8,500	0.1%	+900	
フランス	800	+700	0	+0	0	+0					5,700	0.1%	+2,800	
タイ	2,800	+100	0	+0	0	+0					17,400	0.2%	+2,200	
シンガポール	4,100	△200	0	+0	0	+0					16,900	0.2%	+900	
マレーシア	1,500	+200	0	+0	0	+0					8,100	0.1%	+1,700	
インドネシア	600	△200	0	+0	0	+0					3,800	0.0%	+900	
オーストラリア	900	△200	0	+0	0	+0					9,000	0.1%	+1,900	
その他※	26,500	△2,100	0	+0	0	+0					267,800	3.2%	+60,500	
外国計	214,600	+10,500	0	+0	0	+0	2,701,500	27.1%			2,247,400	27.2%	+543,900	
総計	862,800	+46,400	601,100	+34,300	640,800	+34,400	9,973,500	100%			8,277,500	100%	+870,900	

外国人国籍内訳は、
3か月後に公表されま
す。

※その他には乗務員を含む

4. 入域数／エリア構成比 (25年度累計／同期比)

国内入域エリア別 (4月~2月)

	構成比	
	比率	前年差
東日本	52.0%	△0.2%
中部	8.8%	△0.3%
関西・中四国	23.7%	△0.3%
九州	15.5%	+0.8%

海外入域エリア別 (4月~12月)

	構成比	
	比率	前年差
台湾	41.2%	△0.6%
韓国	19.3%	△3.0%
中国本土	14.7%	+8.4%
香港	7.7%	△4.1%
海外その他	17.1%	△0.7%

参考数値

● 月ごとの供給/需要/利用率

参考値
FSC・LCC内訳

	4-6月計	7-9月計	上期計	10月	11月	12月	10-12月計	1月	2月	1-3月計	下期計	年度計
国内	提供座席 2,366,420	2,524,909	4,891,329	820,748	803,422	830,205	2,454,375	812,691	722,224	1,534,915	3,989,290	8,880,619
	輸送実績 1,824,338	2,234,561	4,058,899	754,366	698,434	671,104	2,123,904	619,971	648,604	1,268,575	3,392,479	7,451,378
	利用率 77.1	88.5	83.0	91.9	86.9	80.8	86.5	76.3	89.8	82.6	85.0	83.9
海外	提供座席 595,791	627,890	1,223,681	216,103	188,683	192,147	596,933	195,989	191,992	387,981	984,914	2,208,595
	輸送実績 482,291	524,683	1,006,974	178,362	156,521	167,603	502,486	173,904	171,924	345,828	848,314	1,855,288
	利用率 80.9	83.6	82.3	82.5	83.0	87.2	84.2	88.7	89.5	89.1	86.1	84.0
合計	提供座席 2,962,211	3,152,799	6,115,010	1,036,851	992,105	1,022,352	3,051,308	1,008,680	914,216	1,922,896	4,974,204	11,089,214
	輸送実績 2,306,629	2,759,244	5,065,873	932,728	854,955	838,707	2,626,390	793,875	820,528	1,614,403	4,240,793	9,306,666
	利用率 77.9	87.5	82.8	90.0	86.2	82.0	86.1	78.7	89.8	84.0	85.3	83.9

	FSC	LCC
令和8年2月	554,000	84,700
令和7年2月	520,900	83,500
増減数	+33,100	+1,200
前年同月比	106.4%	101.4%
FSC・LCC比率	86.7%	13.3%

参考数値

● 路線別の供給/需要/利用率 (国内累計)

概況について ※一部実績が含まれていないため、参考としてください。
 ○ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を上回る
 △ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(±0~
 × 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(▲5%以下)

国内		輸送実績(需要)				提供座席(供給)				利用率			需給	概況
発地	着地	2025年度 累計	2024年度 同期累計	同期比		2025年度 累計	2024年度 同期累計	同期比		2025年度 累計	2024年度 同期累計	増減	需給 前年比 差異	
				前年比	増減			前年比	増減					
札幌	那覇	0	0		+0	0	0		+0	-				○
仙台	那覇	60,796	64,823	93.8%	△4,027	68,779	87,448	78.7%	△18,669	88%	74%	+14%	+15%	○
新潟	那覇	19,855	16,378	121.2%	+3,477	27,224	29,548	92.1%	△2,324	73%	55%	+18%	+29%	○
小松	那覇	42,413	39,744	106.7%	+2,669	54,780	54,615	100.3%	+165	77%	73%	+5%	+6%	○
茨城	那覇	44,346	46,777	94.8%	△2,431	58,941	58,941	100.0%	+0	75%	79%	△4%	△5%	×
羽田	那覇	3,198,992	3,074,401	104.1%	+124,591	3,726,186	3,671,593	101.5%	+54,593	86%	84%	+2%	+3%	○
羽田	宮古	248,176	230,626	107.6%	+17,550	277,151	265,936	104.2%	+11,215	90%	87%	+3%	+3%	○
羽田	石垣	334,948	307,493	108.9%	+27,455	377,176	361,171	104.4%	+16,005	89%	85%	+4%	+4%	○
羽田	久米島	5,773	6,278	92.0%	△505	7,095	8,085	87.8%	△990	81%	78%	+4%	+4%	○
羽田	下地島	48,758	50,156	97.2%	△1,398	59,118	58,587	100.9%	+531	82%	86%	△3%	△4%	△
静岡	那覇	40,878	27,733	147.4%	+13,145	55,435	41,996	132.0%	+13,439	74%	66%	+8%	+15%	○
東日本エリア計		4,044,935	3,864,409	104.7%	+180,526	4,711,885	4,637,920	101.6%	+73,965	86%	83%	+3%	+3%	○
名古屋	那覇	521,216	498,811	104.5%	+22,405	653,760	615,285	106.3%	+38,475	80%	81%	△1%	△2%	△
名古屋	宮古	49,775	55,159	90.2%	△5,384	56,536	67,817	83.4%	△11,281	88%	81%	+7%	+7%	○
名古屋	石垣	49,578	53,078	93.4%	△3,500	56,640	67,798	83.5%	△11,158	88%	78%	+9%	+10%	○
中部エリア計		620,569	607,048	102.2%	+13,521	766,936	750,900	102.1%	+16,036	81%	81%	+0%	+0%	○
伊丹	那覇	599,226	558,789	107.2%	+40,437	669,599	672,443	99.6%	△2,844	89%	83%	+6%	+8%	○
伊丹	宮古	0	0		+0	0	0		+0	-				-
伊丹	石垣	5,643	6,553	86.1%	△910	6,372	8,300	76.8%	△1,928	89%	79%	+10%	+9%	○
関西	那覇	281,483	278,594	101.0%	+2,889	348,647	378,490	92.1%	△29,843	81%	74%	+7%	+9%	○
関西	宮古	94,347	97,130	97.1%	△2,783	115,414	126,019	91.6%	△10,605	82%	77%	+5%	+6%	○
関西	石垣	95,579	83,265	114.8%	+12,314	114,337	104,054	109.9%	+10,283	84%	80%	+4%	+5%	○
神戸	那覇	330,773	323,860	102.1%	+6,913	417,020	419,193	99.5%	△2,173	79%	77%	+2%	+3%	○
神戸	下地島	45,030	46,697	96.4%	△1,667	59,118	58,764	100.6%	+354	76%	79%	△3%	△4%	△
岡山	那覇	49,860	48,191	103.5%	+1,669	56,925	56,760	100.3%	+165	88%	85%	+3%	+3%	○
広島	那覇	59,840	61,868	96.7%	△2,028	68,562	75,735	90.5%	△7,173	87%	82%	+6%	+6%	○
岩国	那覇	44,388	40,574	109.4%	+3,814	55,348	55,111	100.4%	+237	80%	74%	+7%	+9%	○
高松	那覇	51,013	58,674	86.9%	△7,661	59,767	81,676	73.2%	△21,909	85%	72%	+14%	+14%	○
松山	那覇	44,330	40,982	108.2%	+3,348	54,732	55,106	99.3%	△374	81%	74%	+7%	+9%	○
関西・中四国エリア計		1,701,512	1,645,177	103.4%	+56,335	2,025,841	2,091,651	96.9%	△65,810	84%	79%	+5%	+7%	○
福岡	那覇	848,518	783,915	108.2%	+64,603	1,077,616	1,080,395	99.7%	△2,779	79%	73%	+6%	+8%	○
熊本	那覇	47,294	45,658	103.6%	+1,636	55,438	54,941	100.9%	+497	85%	83%	+2%	+3%	○
宮崎	那覇	43,246	41,159	105.1%	+2,087	58,004	57,306	101.2%	+698	75%	72%	+3%	+4%	○
鹿児島	那覇	89,868	84,902	105.8%	+4,966	115,642	115,628	100.0%	+14	78%	73%	+4%	+6%	○
与論	那覇	29,717	30,417	97.7%	△700	35,350	36,446	97.0%	△1,096	84%	83%	+1%	+1%	○
沖縄永良部	那覇	11,791	11,977	98.4%	△186	15,552	15,574	99.9%	△22	76%	77%	△1%	△1%	△
九州エリア計		1,070,434	999,065	107.1%	+71,369	1,357,602	1,361,984	99.7%	△4,382	79%	73%	+5%	+7%	○
国内/合計		7,437,450	7,115,699	104.5%	+321,751	8,862,264	8,842,455	100.2%	+19,809	84%	80%	+3%	+4%	○

● 空港別の外国人入国者数(那覇/石垣/下地島) 出入国管理統計より引

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
那覇	159,554	157,443	159,014	166,181	186,813	160,148	170,454	151,746	157,000	162,659	0	0	1,631,012	94.4%
石垣	5,418	5,711	6,869	6,925	9,622	6,863	6,007	2,452	2,845	3,031	0	0	55,743	3.2%
下地島	3,067	3,647	4,016	4,471	5,717	6,179	5,027	2,868	2,808	3,166	0	0	40,966	2.4%
合計	168,039	166,801	169,899	177,577	202,152	173,190	181,488	157,066	162,653	168,856	0%	0%	1,727,721	100.0%

市場別概況の表の見方

訪日概況：2026年2月時点
JNTO報道発表
「地域別訪日市場の概況」より引用。

沖縄県入域観光客数概況：2025年12月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
※法務省出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、3か月後の同庁の公表後に確定版として公表。



台湾

訪日概況：5月の訪日客数は466,000人（前年同月比53.6%増）であった。旅行代金の高騰等があったものの、日本各地へのチャーター便を含む地方路線の増便等の影響もあり、5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年5月）

沖縄県入域観光客数比較

観光客数回復率*

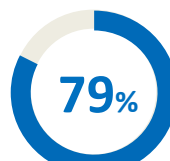
観光客数回復率：2025年12月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
2018年12月と2025年12月の比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率：2026年3月時点
OCVB調べ
就航数がピークの2019年7月と2026年3月の週間運航便数から算出

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年6月の週間運航便数から算出

2024年3月は年度最高の59,200人で着地。年度全体での回復率は58%となった。直近3か月の回復率は80%を上回った状態で推移しており、今後も順調な回復が見込まれる。

市場別概況



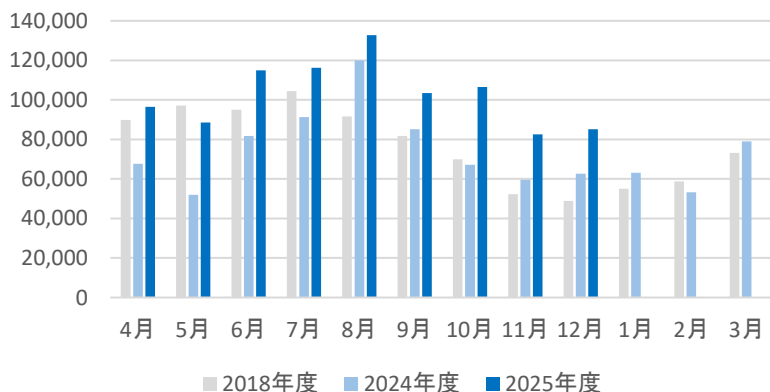
台湾

訪日概況：2月の訪日客数は、693,600人（前年同月比36.7%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったこと、台北桃園～那覇間の増便や、スクールホリデー、3連休の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

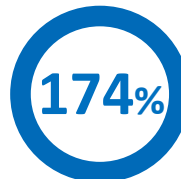
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

沖縄県入域観光客数比較

観光客数回復率



出典：沖縄県「入域観光客統計」



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年3月の週間運航便数から算出

訪沖概況：2025年12月は対前年同月比136%、22,500人増となる**85,100人**の訪沖者数となった。

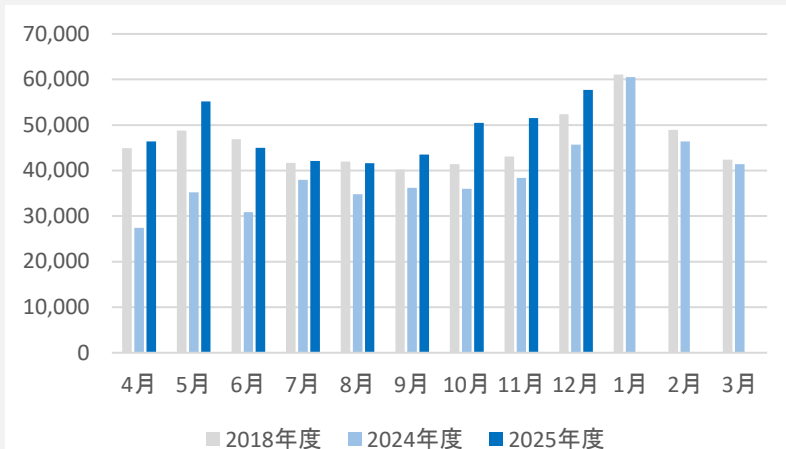


韓国

訪日概況：2月の訪日客数は、1,086,400人(前年同月比 28.2%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったこと、仁川～成田間、仁川～福岡間の増便や、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年12月は、対前年同月比126%、12,000人増となる**57,700人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年3月の週間運航便数から算出

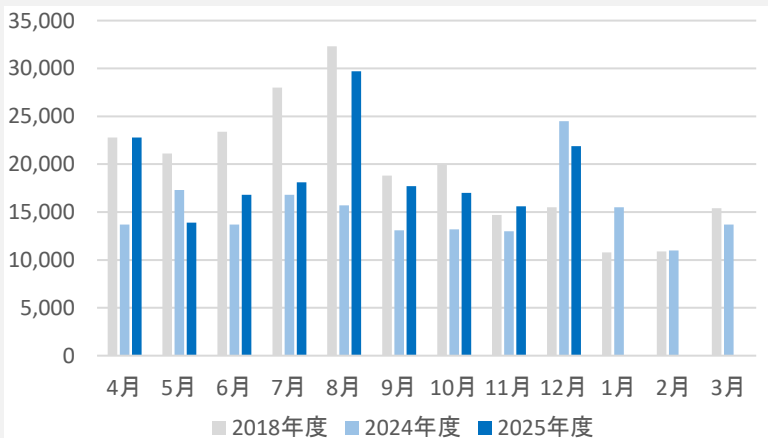


香港

訪日概況：2月の訪日客数は、233,900人(前年同月比 19.6%増)であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことや、前年同月と比較した航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

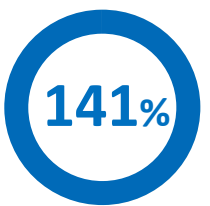
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

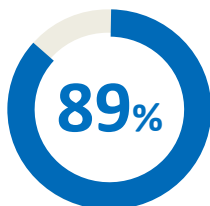
訪沖概況：2025年12月は、対前年同月比89%、2,600人減となる**21,900人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年3月の週間運航便数から算出

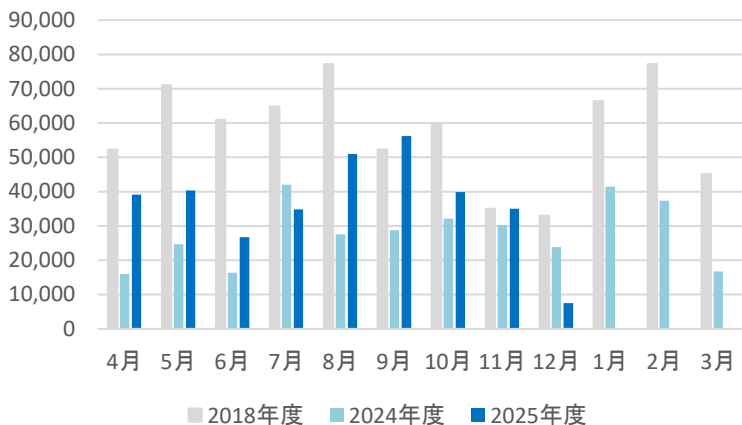


中国

訪日概況：2月の訪日客数は、396,400人(前年同月比 45.2%減)であった。前年は1月下旬から始まった春節が今年は2月中旬となったこと等はあったものの、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があった。航空便の減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

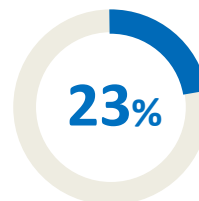
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

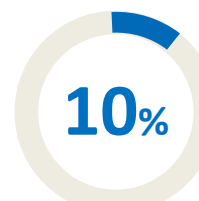
訪沖概況：2025年12月は対前年同月比32%、16,300人減となる**7,500人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年3月の週間運航便数から算出

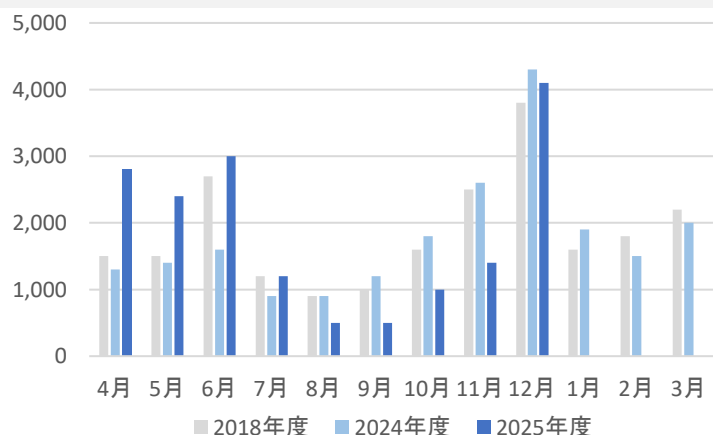


シンガポール

訪日概況：2月の訪日客数は51,300人(前年同月比 21.4%増)であった。訪中旅行の継続的な人気の影響等があるものの、前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

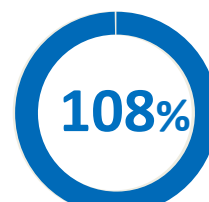
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

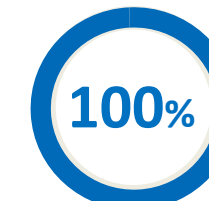
訪沖概況：2025年12月は対前年同月比95%、200人減となる**4,100人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年3月の週間運航便数から算出

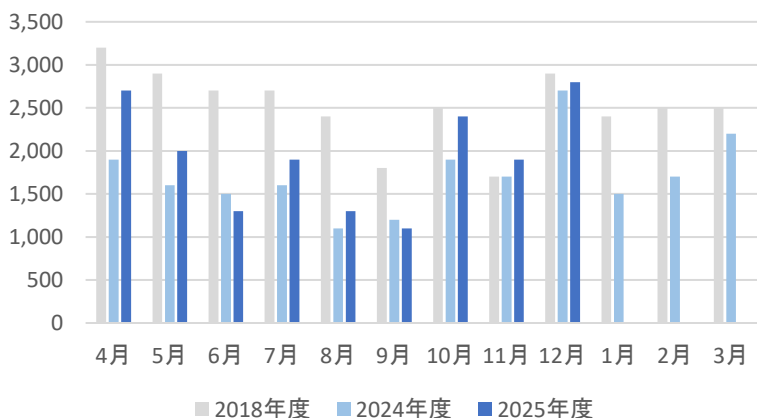
5. エリア概況（海外）タイ・マレーシア

訪日概況：2月の訪日客数は、117,000人(前年同月比 0.2%増)であった。経済の不透明感による海外旅行需要の低迷の影響等があるものの、2025年12月のバンコク～仙台間の復便や、バンコク～成田間、バンコク～関西間の増便、祝日の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

タイ

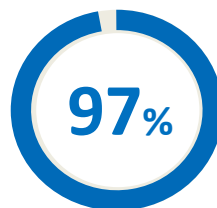
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

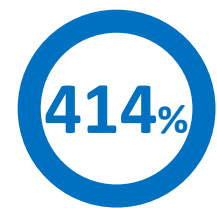
訪沖概況：2025年12月は対前年同月比104%、100人増となる**2,800人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率

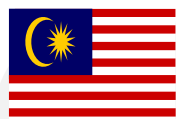


*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年3月の週間運航便数から算出

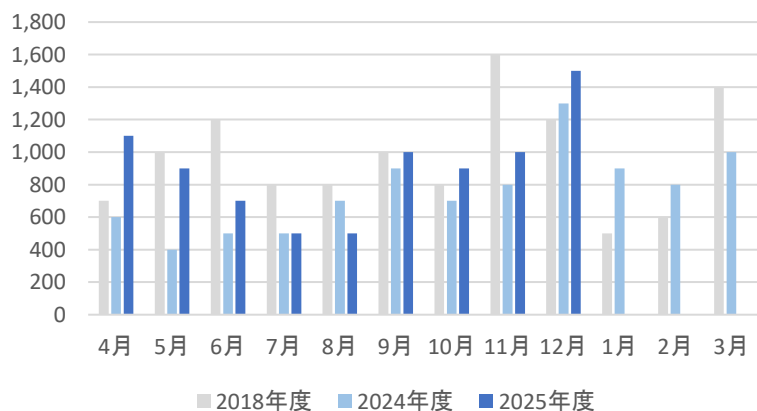


マレーシア

訪日概況：2月の訪日客数は、59,700人(前年同月比 8.0%減)であった。クアラルンプール～新千歳間の増便に加え、前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことの影響等があるものの、スクールホリデーの期ずれや、イスラム教の断食期間による旅行需要の減少、訪中旅行の継続的な人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

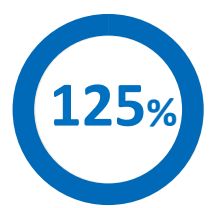
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年12月は対前年同月比115%、200人増となる**1,500人**の訪沖者数となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月は就航がなかったため
2026年3月の週間運航便数は6便増としています

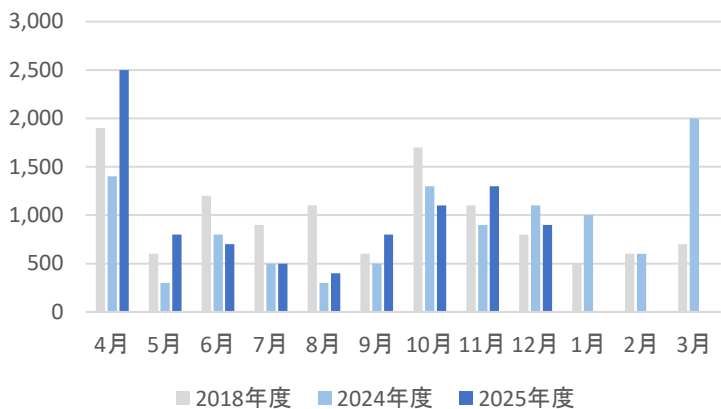


オーストラリア

訪日概況：2月の訪日客数は、87,000人(前年同月比 2.0%減)であった。訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気があるものの、一部の州におけるスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

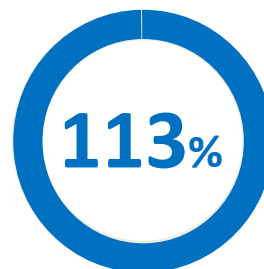
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年12月は対前年同月比82%、200人減となる**900人**の訪沖者数となった。

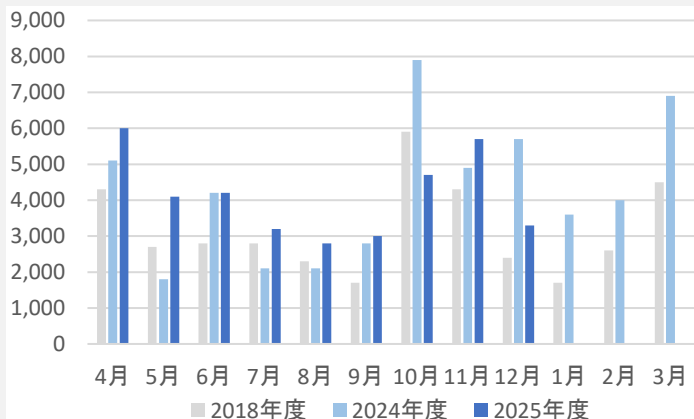


アメリカ

訪日概況：2月の訪日客数は、219,700人(前年同月比 14.7%増)であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、ウィンタースポーツ目的等による訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気に加え、祝日の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

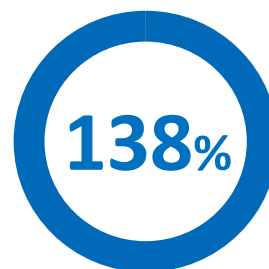
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年12月は対前年同月比58%、2,400人減となる**3,300人**の訪沖者数となった。

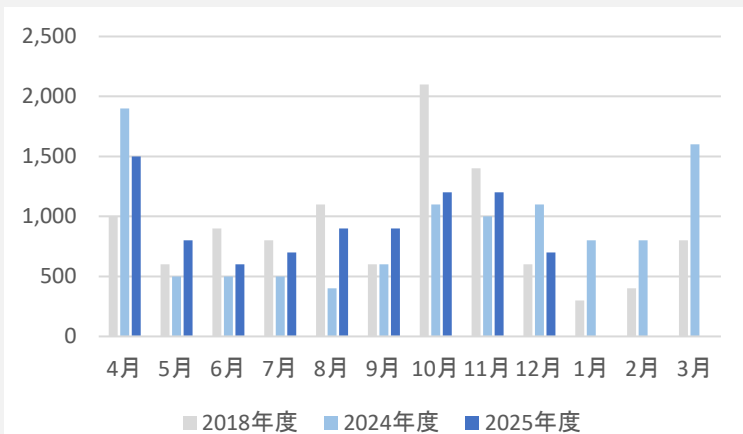


イギリス(本国)

訪日概況：2月の訪日客数は35,600人(前年同月比 13.3%増)であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、スクールホリデーやウィンタースポーツ目的等による訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

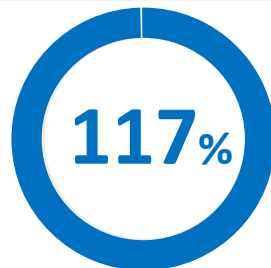
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年12月は対前年同月比64%、400人減となる**700人**の訪沖者数となった。

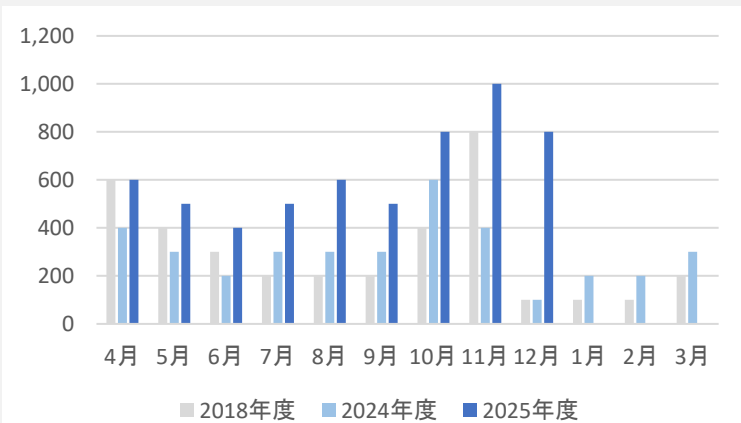


フランス

訪日概況：2月の訪日客数は、30,600人(前年同月比 15.4%増)であった。2月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、2月中旬から始まったスクールホリデーや、継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日需要の高まりやクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2018年12月と2025年12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2025年12月 は対前年同月比800%、700人増となる**800人**の訪沖者数となった。12月の単月としては過去最高を記録。

沖縄発着 国際線状況

国際線運航便数まとめ (那覇・下地・石垣 到着便)

到着地	那覇														下地			石垣			(2026年3月末現在)		
出発地	台北	台中	高雄	台南	北京	上海	福州	仁川	釜山	清州	香港	シンガポール	バンコク	クアラルンプール	仁川	台北	台中	仁川	香港	台北	全路線計	就航会社数	便数回復率
便数	77	16	15	2	0	4	0	42	14	7	32	4	29	6	7	2	2	7	7	2	275	22	107.4%

回復率は2019年7月の週間便数(256)を100として算出
最新のスケジュール・運航状況は航空各社のHP等ご確認下さい。

那覇空港 沖縄県国際線運航況

運航路線	航空会社	種別	便名 (着・発)	運航曜日							備考	運航時間																			
				便数/週	月	火	水	木	金	土		日	到着	出発																	
台湾	台北	チャイナエアライン	CI 120/121	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10:45	11:55						
			CI 122/123	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19:45	20:55				
		スターラックス航空	FSC JX 870/871	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14:40	15:50			
			IT 230/231	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9:20	10:10			
		タイガーエア台湾	LCC IT 232/233	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20:50	21:40		
			BR 112/113	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9:15	10:15		
		Eバー航空	FSC BR 186/185	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18:55	19:55		
	MM 922/921		7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12:20	8:10			
	Peach Aviation	LCC MM 924/927	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17:35	13:15			
		MM 930/929	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20:50	16:45			
		FSC NU 302/301	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12:35	8:25			
	台中	スターラックス航空	FSC JX 302/303	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15:45	16:45		
			FSC JX 312/313	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19:10	20:10		
	高雄	タイガーエア台湾	LCC IT 792/793	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9:40	19:30		
LCC IT 288/289			7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13:00	14:00			
LCC IT 728/729		2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3.30-	(那覇発は月・金)	18:10	10:30		
台南	チャイナエアライン	FSC CI 132/133	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18:45	19:45			
		LCC IT 796/797	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17:50	13:25		
中国	上海	春秋航空	LCC 9C 6245/6246	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14:00	15:00		
			FSC MU 2085/2086	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13:30	14:30	
韓国	仁川	アジア航空	FSC OZ 172/171	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17:15	18:15		
			FSC KE 2147/2148	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11:50	12:50	
			LCC TW 281/282	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13:35	14:35	
			LCC 7C 1801/1802	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15:45	16:45
			LCC ZE 631/632	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14:00	15:00
	釜山	ジンエアー	LCC LJ 341/342	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12:05	13:15	
			LCC LJ 371/372	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10:05	11:05	
			LCC ZE 963/964	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11:00	12:00	
清州	エアロK	LCC RF 394/393	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9:05	9:50		
		UO 842/843	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10:40	11:35		
香港	香港	香港エクスプレス	LCC UO 844/845	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18:05	18:50	
			UO 824/825	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19:30	20:25	
			FSC HX 658/659	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15:10	16:10	
		FSC HX 676/679	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12:55	13:55		
シンガポール	シンガポール	スクート	LCC TR 834/835	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8:25	9:30		
タイ	バンコク (ドンムアン)	タイ・エアアジア	LCC FD 240/241	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15:05	16:05	
			LCC FD 230/231	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15:55	16:55	
			LCC FD 518/519	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16:25	17:45	
	バンコク (スワンナプーム)	タイ・ライオン・エア	LCC SL 390/391	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11:00	12:00	
LCC VZ 568/569			7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17:20	18:20		
マレーシア	クアラルンプール	パティックエア・マレーシア	LCC OD 882/883	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15:50	16:50	

248 36 35 34 37 34 35 37

下地島空港

運航路線	航空会社	種別	便名	運航曜日							備考	運航時間																	
				便数/週	月	火	水	木	金	土		日	到着	出発															
韓国	仁川	ジンエアー	LCC LJ 357/358	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11:00	12:00	
台湾	台北	スターラックス	FSC JX 886/887	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9:35	10:35
台湾	台中	スターラックス	FSC JX 308/309	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10:50	11:50

11 2 2 1 2 2 1 1

石垣空港

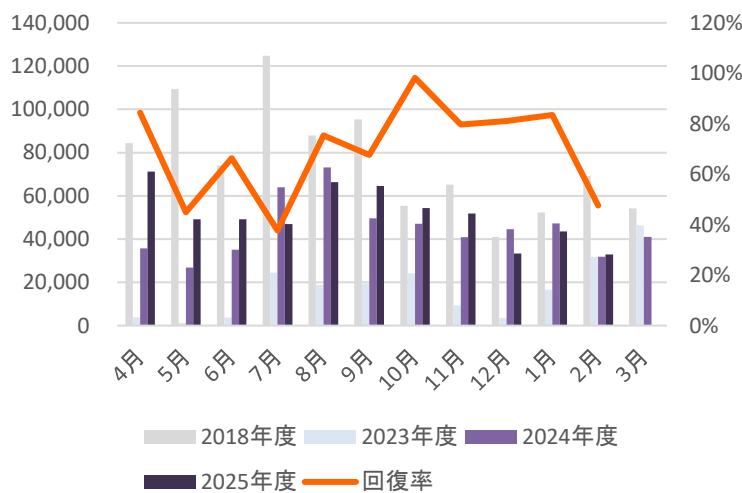
運航路線	航空会社	種別	便名	運航曜日							備考	運航時間																	
				便数/週	月	火	水	木	金	土		日	到着	出発															
韓国	仁川	ジンエアー	LCC LJ 361/362	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12:00	13:00	
香港	香港	香港エクスプレス	LCC UO 858/879	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2026.3/29 ~4/12までデリー、4/13からは週4便	10:40	11:30
台湾	台北	タイガーエア	LCC IT 736/737	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2026.2.4-	8:35	9:25

クルーズ市場概況

令和8年2月の海路からの外国人入域客数（乗務員を除く）は、32,900人となり、昨年同月（令和7年2月）比 103%と微増となりました。一方、中国からの寄港船の減少が主な要因となり、対前月（令和8年1月）比 約75% 1万人以上の減少となりました。

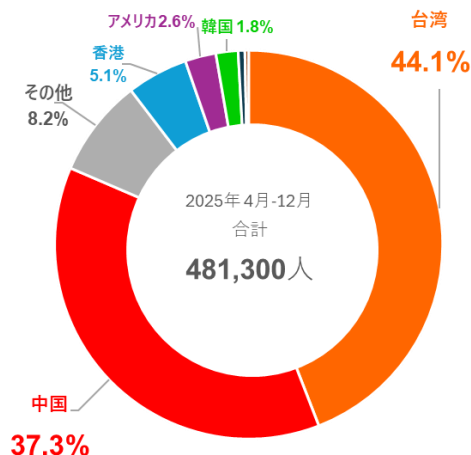
OCVBでは、クルーズ船乗船客の消費額等を調査し、先日沖縄県及びりゅうぎん総合研究所と共同でクルーズ船における経済効果を発表しました。今後は本調査結果を踏まえ効果的なプロモーションを展開してまいります。（詳細は下段参照）

クルーズ（外国客、海路） | 入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

国籍内訳



*外国人入域観光客数（海路）*乗務員除く

2018年度（ピーク時）の同期と比較

国籍	台湾	韓国	中国	香港
割合	99%	247%	58%	73%

沖縄県・りゅうぎん総合研究所との共同発表  沖縄県  りゅうぎん総合研究所  OCVB

去る3/24(火)、沖縄県及びりゅうぎん総合研究所と合同でクルーズ船観光の実態分析と今後の展望をテーマに共同記者発表を行いました。

今回の調査のポイントは以下となります。

- ・クルーズがもたらす年間の経済効果は約161億円
- ・特にフライ&クルーズの形態の消費が高い傾向にある
- ・国籍別では米国籍の乗客の消費が最も高い

また、持続可能なクルーズ船誘致を行うべく具体的な取り組み等の提言も含まれております。詳細は下記の通りとなりますのでぜひご覧ください。

りゅうぎん総合研究所 WEBサイト 調査レポート
<http://www.ryugin-ri.co.jp/tyousareport/29870.html>



クルーズ船寄港情報

那覇港：<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>

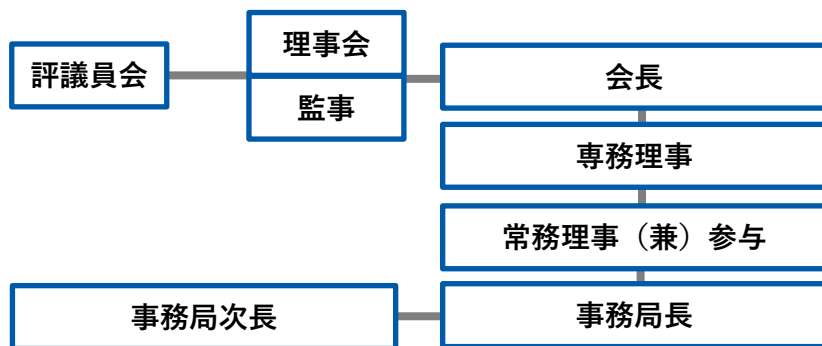
石垣港：<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusen/370.html>

平良港：<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kowan/>

本部港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022459/1022074.html>

中城湾港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022455/1013162.html>





総務企画部

海外・MICE事業部

国内事業部

- **総務・経理**
 - ・組織、人事、給与、予算・決算
 - ・財務、システム管理
 - ・評議員会、理事会
 - ・安全衛生委員会の運営
 - ・OCVB職員研修（受入推進課連携）
 - ・協賛、後援
- **企画・DMO推進**
 - ・観光目的税に関すること
 - ・SDGsに関する事項（横断的取組み）
 - ・OCVBと沖縄県のあり方検討関連事項
 - ・観光地経営戦略策定に関すること
 - ・経営戦略に関するプロジェクトチーム
 - ・観光危機管理
 - ・DMO法人登録および関連事業（横断的取組み）
 - ・おきなわ観光地域カルテ
 - ・沖縄観光大使事務局
 - ・OCVB News
 - ・組織広報
 - ・県内事業所との連携
 - ・自主事業等
 - ・賛助会員
 - ・日本観光振興協会沖縄支部事務局運営及び本部等連携事業
 - ・九州・沖縄観光連盟等連絡協議会
 - ・ネットワーク強化に関する事項（MOU締結）
 - ・ネットワーク強化に関する事項（沖縄ツーリズム産業団体協議会関連）
 - ・その他
- **プセナ海中公園事業所**
- **旧海軍司令部壕事業所**

- **海外プロモーション課**
 - ・海外観光客の誘致・受入
 - ・クルーズ観光の推進
 - ・デジタルプロモーション(海外)
 - ・マーケティングデータ収集・分析
 - ・その他
- **MICE推進課**
 - ・MICEの誘致・受入
 - ・MICE人材の育成および資源の開発
 - ・県内MICE推進体制の構築
 - ・サステナビリティMICEの推進
 - ・ブルーゾーンコンテンツの開発
 - ・その他
- **沖縄コンベンションセンター**

- **受入推進課**
 - ・地域観光協会等関連団体との連携
 - ・観光客の受け入れ体制の整備
 - ・沖縄教育旅行の推進
 - ・フィルムツーリズムの推進
 - ・その他
 - ・人材育成センター業務
観光人材育成関連業務
キャリア教育受入等
観光人材育成および観光啓発
OCVB職員研修（総務企画部連携）
- **国内プロモーション課**
 - ・国内観光客の誘致
 - ・離島観光の促進
 - ・スポーツツーリズムの推進
 - ・東京事務所との連携
 - ・デジタルプロモーション（国内）
 - ・その他
- **東京事務所**
 - ・国内観光客の誘致に関する事項
 - ・沖縄教育旅行推進に関する事項
 - ・MICEの誘致・受入全般に関する事項
 - ・首都圏に関する市場調査
 - ・その他



基本方針 「旅行者の満足度」「地域への経済貢献」「環境・文化の持続可能性」を意識した質の高い観光を推進する。

質の高い観光の推進により、沖縄観光の成長を目指す！

市場の見通し 観光危機、国内外情勢の悪化等、継続してモニタリングを行い、変化に対し迅速に回復・適応する。

国内市場：旅行マインドが引き続き好調で、令和7年度並みの高水準な推移を予測

海外市場：空路は好調、海路も堅調に推移。供給拡大を背景に、令和7年度を上回る水準を予測

✈️ 海外市場

- ▶ 消費額データ等を活用したプロモーション戦略立案
- ▶ JNTO及び航空会社等と連携した欧米塚市場のPR強化
- ▶ クルーズ誘致に係る関係機関との受入体制強化

🏠 国内市場

- ▶ 「おきなわ物語」を核とした各テーマでの各種情報発信
- ▶ もう1泊、1島等、閑散期対策に係るプロモーション
- ▶ 首里城正殿復元、世界自然遺産登録5周年

👥 受入体制

- ▶ 観光人材育成センターによる連携推進(DX・確保)
- ▶ 修学旅行誘致推進・受入整備
(関係連携・需要分散)
- ▶ 地域観光の受入強化(観光協会・DMO連携)

🏢 MICE

- ▶ ブルーズーンを核とした高付加価値プログラム開発
- ▶ 関連団体と連携した海外需要の開拓
- ▶ 「沖縄MICEネットワーク」活動強化による全体的機運醸成

重点キーワード

マーケティング強化

海外需要喚起

国内マーケット拡充

人材育成・確保

事業所運営体制強化

組織経営の安定化

注力する取組み

- ✓ 事業所における収益力強化
- ✓ 観光目的税（宿泊税）導入に向けた具体的な協議推進

◆基礎指針：持続的な組織経営基盤の整備を目的に、財務基盤の強化及び法令順守の徹底に取り組む。また、ワークライフバランスを実現するための各種規定整備及び労働環境改善に取り組むほか、仕事を通じた自己実現と組織目標達成に向けた人材戦略を推進する。

1. 組織運営

- ① 理事会、評議員会の開催
- ② 監査対応、法令順守
- ③ 各種規定整備、人事労務管理
- ④ 労働環境整備（安全衛生委員会開催）

3. 財務基盤強化

- ① 公益事業・自主事業（県内事業所）の適正な人員配置と収益性強化
- ② 安定的な財源の確保（宿泊税の活用）
- ③ 管理部門の適正な人員配置と業務効率化、経費適正化

2. 人材戦略

- ① 人材の確保・定着・育成を目的とした職員の待遇改善
- ② 組織の求める人材を継続的に確保するための採用活動強化
- ③ 組織マネジメント力強化及び観光プロフェッショナル人材を育成するための研修実施

4. 組織横断的な取り組み

- ① 中期経営計画に基づく経営方針の説明
- ② 部門間の連携強化と情報共有体制構築
↳プロジェクトチーム組成、定例会議の運営等
- ③ 沖縄県とOCVBの役割の合意形成（連絡会議）

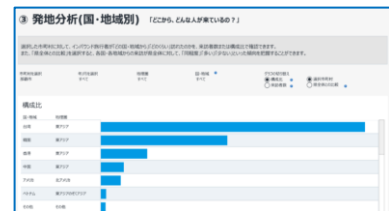


1. DMO推進・強化の取り組み

◆基礎指針：DMO法人として関係機関との連携を通し、マーケティング情報の提供や勉強会の開催を通じて沖縄観光の推進を図る

- 県・OCVB連携・観光振興指標の検討
- 県内DMOとの役割整理・仕組化
- 内閣府・観光庁事業等の情報共有・調査
- 入域予測・OCVB News発行
- 「おきなわ観光地域カルテ」の開発・活用促進

【各種情報はOCVB公式サイトにて公開】



2. 観光危機管理体制構築支援

◆基礎指針：沖縄県と連携し、地方行政及び観光業界とともに、観光危機管理体制の基盤形成と強化の推進を図る。

【体制構築】 関係機関との連携体制構築



【計画支援】 BCP等計画の運用改善・新規策定支援（勉強会・WS）



【実践訓練】
図上訓練等の実施（11月中旬ごろ予定）



【実践訓練】 観光危機管理に関する情報発信



3. 賛助会員

◆基礎指針：賛助会員の会員数拡大、交流促進、サービス充実等を通じ、OCVBへの信頼を獲得する。

626社

(3/11時点)

事業説明会 交流会 各種セミナー

NEW 交流掲示板の本格運用
(令和8年4月1日～)

NEW 賛助会員管理システムの導入検討

4. 広域連携事業

◆基礎指針：観光団体等との連携強化を通じ、効果的な施策展開とDMO機能強化を促進する。

【主催】

- ・沖縄ツーリズム産業団体協議会
- ・日本観光振興協会沖縄事務局
- ・九州・沖縄観光連盟等

【出席】

- ・沖縄県主催会議等
- ・各市町村主催会議等
- ・経済団体主催会議等

5. 広報の取り組み

◆基礎指針：OCVBの取り組み周知強化及び、沖縄観光大使を活用した観光コンテンツ発信の強化を行う。

【沖縄観光大使】

【旧体制】
4部門制
(自然・伝統芸能・食・スポーツ)



【新体制】
派遣機会の拡大
(幅広い催事・イベントへ対応)

次期大使 新体制：令和8年8月1日～



【各種広報業務】



PR Times
配信



公式サイト/
SNS



定例記者懇談会



事業概要2025



EXPO'75

◆基本指針：悲惨な戦争の歴史を学び「恒久平和を祈念する地・沖縄」としての情報を発信し、平和学習・戦跡地参拝客の需要喚起を図り「平和で豊かなおきなわ」づくりに貢献する。

開業56年を迎える旧海軍司令部壕では、終戦から81年が経過し戦争の風化や参拝客の減少が課題となっている。これに対応するため、団体から個人旅行への変化に合わせた受入態勢の整備や多言語化、デジタル技術を活用した「わかりやすい」展示・演出を導入し、特に若年層や親子連れへの訴求を強化する。また、遊具施設の刷新で利用者が増加している海軍壕公園との一元管理を活かし、安全で快適な環境維持とあわせて、戦跡と公園が一体となった平和学習の場の創出と利用促進を図る。

令和7年度見込み

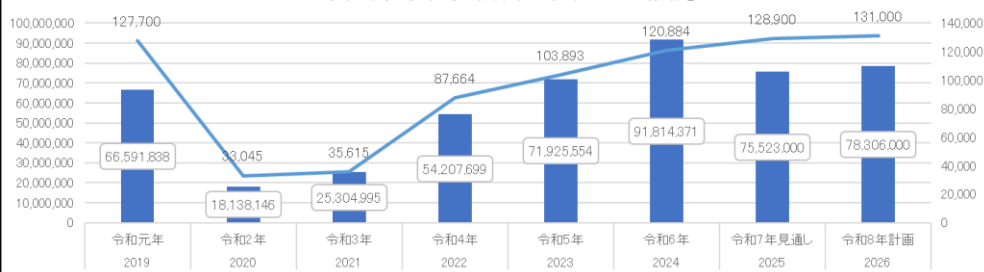
- ①参観者： 12.9万人
- ②収 入：75,523千円

令和8年度目標

- ①参観者： 13.1万人
- ②収 入：78,306千円



旧海軍司令部壕「参観者数と事業収入の推移」



令和8年度の主な取り組み

○専門ガイド・講話の充実

- ↳ 平和ガイドによる顧客満足度の向上と、聞き手の年代に合わせた語り口の工夫。
- ↳ SDGs (平和と公正) を意識した、現代の課題と戦史を結びつける学習メニューの提供。

○視覚的理解を助けるデジタル演出

- ↳ 3Dパノラマ映像を活用したオンライン講話の実施と、没入感を高める映像演出の改善。

○ユニバーサルデザインと多言語化の推進

- ↳ 多言語表示 (サイン・パンフレット・音声ガイド) の拡充によるインバウンド受入強化。
- ↳ 新設された遊具施設の定期点検と、周辺の緑化・清掃による環境美化の徹底。

◆基本指針：施設の趣旨に沿ったサービスの向上により収益増加を図り、OCVBにおける安定的な自己財源確保に努める。

開業から50年以上が経過した海中展望塔の計画的な修繕と、グラスボートの安全運航、また栈橋の修繕を図りサービス向上・収益強化を推進します。具体的には、デジタルマーケティングを活用した情報発信の強化に加え、旅行代理店や近隣ホテル、レンタカー事業者等との連携による多角的な集客活動を展開し、販売力の底上げを図ります。また、サンゴの保全活動や稚魚放流、地域交流といったSDGs活動を継続することで、沖縄の海の魅力を発信しながら環境保護と地域貢献を両立する持続可能な事業運営に取り組みます。

令和7年度見込み

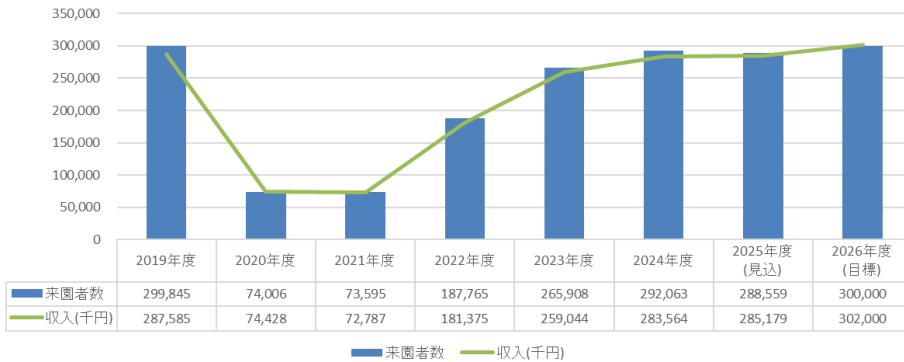
①参観者： 28.8万人
②収入：285,000千円

令和8年度目標

①参観者：30万人
②収入：302,000千円



ブセナ海中公園 来園者数及び収入推移(2019～2026年度)



令和8年度の主な取り組み

○計画的なメンテナンスの実施

- └海中展望塔の経年劣化状況の調査と、修繕計画に基づく優先的な補修の実施。
- └改修から16年が経過した固定栈橋（グラスボート乗り場）の修繕の実施。

○SDGs・地域貢献への取り組み

- └地元小学校との交流を通じた、海の環境学習や地域貢献活動の実施。
- └サンゴ礁の保全を目的とした、植え付けサンゴの定期的モニタリング。

○販売力の強化（広報・営業活動）

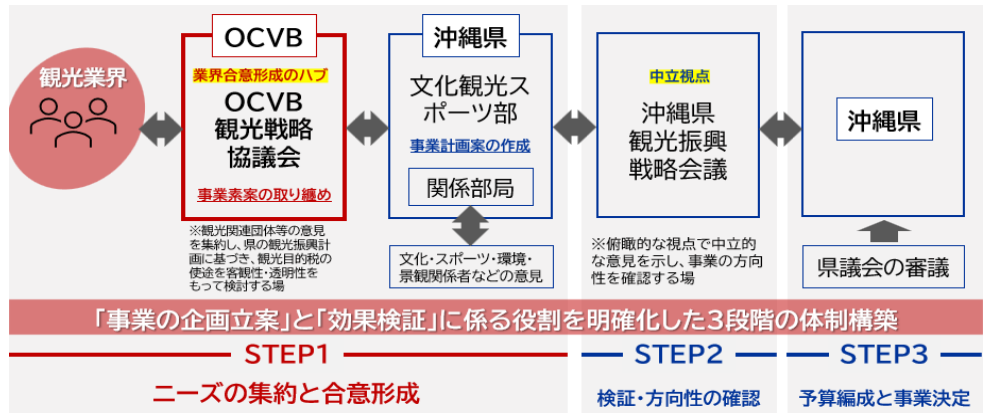
- └現地や周辺施設でのチケット購入利便性を高める販売網の拡充。
- └旅行代理店、レンタカー事業者等との連携による、情報誌・特典ブックへの露出アップ。

1. 観光目的税（宿泊税）導入に向けた取り組み

◆基礎指針：観光目的税（宿泊税）導入に向けて観光関連団体等で構成された新たな協議会を立ち上げ、客観性・透明性をもって使途の検討及び戦略的提案と効果検証を行う。

令和9年2月の観光目的税（宿泊税）の導入に向けて特別徴収義務者への説明会、観光客や県民に向けて幅広く広報・周知が必要となる。沖縄県と両輪となり、観光業界や地域の観光協会と密に連携を取りながら、OCVBとしての強みを活かし、円滑な導入に向けて取り組んでいく。また、OCVB内に新たな協議会を立ち上げ、観光関連団体等の知見に基づく意見の集約および要望をもとに合意形成を図り、沖縄県に対して税の使途についての戦略的な事業立案を行うとともに、事業の効果検証を行う。

▶観光目的税（宿泊税）事業策定STEP



2. SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

◆基礎指針：おきなわSDGs認証更新に向けて、組織の社会的責任としてSDGsへの取り組みを推進していく。

おきなわSDGs認証制度（おきなわSDGsプラチナパートナー）更新に向けて、広域連携DMOとして、地域経営の視点に立った司令塔として持続可能な観光地づくりのために設定した次の①～⑤の項目に注力。

加えて、サステナブルツーリズム宣言に沿ったSDGsへの取り組みをOCVB全体で推進していく。

■注力する取組

- ①「おきなわ観光地域カルテ」の活用促進
- ②「エシカルトラベルオキナワ」の推進
- ③ブセナの海で「見る」、「学ぶ」、「育てる」
- ④旧海軍司令部壕 - 心に残る戦跡地を目指して -
- ⑤ステークホルダーマネジメント
- 観光関連団体やOCVB賛助会員とのパートナーシップ連携強化 -



◆基礎指針：リスクヘッジとデータ活用によりインバウンド誘客を促進する。

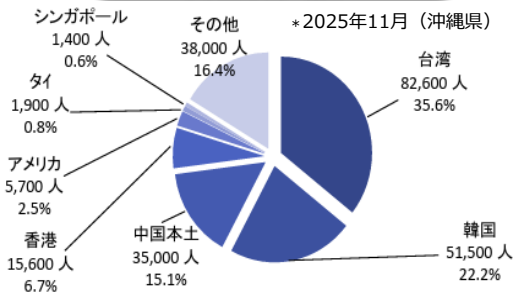
背景

インバウンドは、風評被害、政治問題、社会情勢等、外的要因による影響を大きく受けるため、様々な市場に対するプロモーション実施が今後更に重要となる。

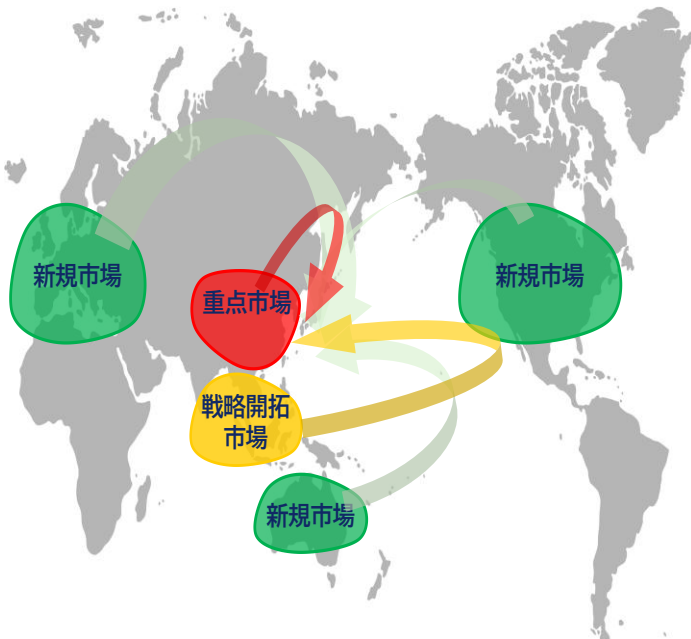
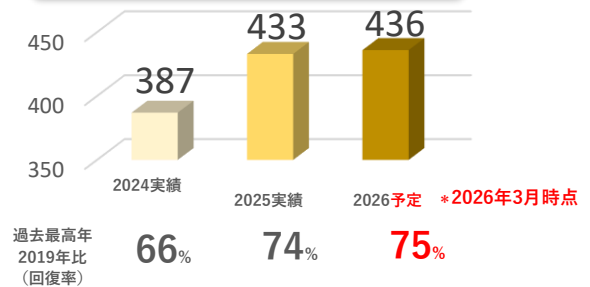
目標

消費額データ及び航空データ等を活用し、プロモーションを強化すべき市場の解像度を上げるとともに、消費単価向上、滞在日数延伸、年間誘客平準化等の課題解決に資するインバウンドプロモーションを実施する。※目標値などは県と要調整

本県への入域観光客 国籍別シェア



クルーズ船寄港回数



重点市場

(台湾・韓国・香港・中国)

- ・新規就航及び冬季ダイヤ運航強化
- ・デジタルプロモーション強化

戦略開拓市場

(タイ・シンガポール・マレーシア)

- ・コンテンツ型PR（ダイビング等）
- ・関係機関連携PR（AGT等）

新規市場（欧米豪）※特に米

- ・JNTO連携及びレップ活用PR
- ・航空会社連携PR

クルーズ

- ・受入体制強化に係る取り組み
- ・消費額向上に係る取り組み

手法

商談会・招聘・旅行博・タイアップ（航空会社/AGT）・支援（クルーズ）・デジタル（WEB/SNS）等

現状/R7年度成果

- ✓ 商談総数 870件 ※R7年度実績
- ✓ 支援総数 186件 ※2/25時点
- ✓ R6MICE開催件数 2073件
- ✓ R6経済効果 473億円(過去最高)

R8年度目標

ブルーゾーンを核としたウェルネス・サステナビリティ分野の国際的MICE開催地として、一段上の誘致・受入体制を目指す



◆基本指針：

- (1) 堅調な国内需要を基盤に海外需要の開拓（アジア・パシフィック、欧米）、支援ニーズ把握
- (2) 「ブルーゾーン（世界的長寿地域）」を核とした高付加価値MICEプログラムの創出
- (3) 「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」を活用したSDGs促進
- (4) 沖縄MICEブランドの浸透を通じた地域の独自性あるサービスおよびコンテンツ開発
- (5) 沖縄MICEネットワークを活用した「チーム沖縄」の連携強化を図り全県的な機運醸成

誘致営業

- MICE商談会出展
- 県内事業者の商談機会創出
- 主催者、旅行社等への訪問営業
- キーパーソン招聘



開催支援

- MICE主催・参加者等アンケート満足度向上
- 学会等開催支援、バス借上支援、空港歓迎式/芸能派遣/泡盛試飲ブース設置 等



受入整備

- 沖縄MICEネットワーク活動活性化
※会員数：199企業団体（3/2現在）
- 「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」普及促進
- ブルーゾーンを深掘りし、「健康」「長寿」「持続可能な生活文化」という付加価値の高いMICEコンテンツ創出



沖縄コンベンションセンター管理運営



(株)沖縄コングレ、(株)ピーエムエージェンシー、(株)コングレ、OCVBの4社で構成する共同事業体で指定管理業務を受託。それぞれの強みを活かし、県内唯一の複合型コンベンション施設において、自主企画の実施、利用者サービスの向上、賑わいの創出に向けて取り組みをさらに強化していく。

現状

令和6年度
 ・一人当たり消費額
 (国内) 104,033円
 ・平均泊数
 (国内) 3.15泊

課題

- ・消費単価の向上
- ・滞在日数の延伸
- ・年間誘客の平準化
- ・環境や地域への負荷

目標

- ・エシカルトラベルの周知拡大
 (県内・県外)
- ・もう1泊、もう1島の促進
- ・効果的な情報発信
 (一般観光・離島・スポーツ等)

戦略

1. エビデンスに基づく戦略策定

LF、リピーター調査、デジタル（Googleアナリティクス・Social Insight等）、おでかけウォッチャー、地域カルテ、関係機関ヒアリング、リアルイベントでのアンケート調査等を踏まえプロモーション戦略策定を行う。

2. 公益性や広域連携DMOの機能を活かしたプロモーション実施

県や地域が推進している取り組み等の情報発信、台風等観光危機発生時の情報発信、関係機関や団体と連携したプロモーションを行う。

3. 相乗効果の高い事業実施

一般観光×デジタル、スポーツ×離島など、事業やチームの垣根を越えたプロモーションを実施し、もう1泊、もう一島等OCVBならではの相乗効果の高い事業展開に努める。

4. 閑散期対策に係るプロモーション

エシカルトラベル、スポーツツーリズム等、冬場の閑散期に誘客が見込めるコンテンツに係るプロモーションを行う。

5. 航空会社連携プロモーション

直行便を就航している航空会社及びチャーター便を展開する地域航空会社と連携し、ニーズや市場の状況に即したプロモーションを行う。

主な取組み

1. エシカルトラベル
2. 地方路線を活用した誘客強化
3. 首里城正殿復元プロモーション
4. 世界自然遺産登録5周年
5. 地域の誘客及び受入方針を尊重した離島観光プロモーション
6. スポーツツーリズム
7. デジタルプロモーション及びマーケティング強化
8. 首都圏の旅行市場動向調査
9. 一般観光、MICE、修学旅行セールス活動
10. 沖縄関連企業や団体との事業連携



現状

観光入域客数
(国内・海外)

:1090万2100人

*令和7年度見込み

国内:過去最高の入域客数
海外:空路は復便、新規就航。海路は海外クルーズが回復傾向

課題

- ・観光人材の不足
- ・二次交通、渋滞問題
- ・修学旅行受入
(物価高騰、バス運転手不足等)
- ・ロケ実施による受入環境整備
- ・観光協会・DMO運営体制の不安定

目標

- ・受入体制を整備することで「沖縄観光の質の向上」を図り、「県民生活の豊かさ」を醸成する。
- ・観光客、観光関連事業者、従業員の満足度向上
- ・県民の幸福感の向上

戦略

- ・国内外マーケットニーズの回復を見据え、各ステークホルダーとの連携体制を強化する。
- ・国内外観光地との競争力ある沖縄観光ブランドの確立をめざし、受入体制の整備ならびに人材定着・育成・確保に努める。
- ・観光産業の重要性や魅力を県民に向け発信すると共に、観光事業者、関係者と連携し、課題解決に向けて取り組む。
- ・地域(自治体、観光協会、観光業者、県民)との連携に基づいたテーマ別ツーリズム(教育旅行、フィルムツーリズム)の強化を図る。

主な取組み

1. 教育旅行強化促進

- ・修学旅行プロモーション
- ・事前・事後学習支援
- ・修学旅行模擬体験事業
- ・商品造成・受入体制整備
- ・沖縄県修学旅行推進協議会・分科会の開催
- ・海外教育旅行誘致及び受入体制整備

2. フィルムツーリズムの推進

- ・フィルムコミッション窓口業務
- ・ロケ受入体制強化(セミナー開催、ガイドライン周知)
- ・県外フィルムマーケット等でのロケ地プロモーション
- ・地域の魅力発信
(県内外上映機会の創出WEB・SNS発信)

3. 地域観光協会との連携強化

- ・地域へのヒアリング
- ・全体協議会の開催
- ・地区協議会の開催
(南部・中部・北部・宮古・八重山・久米島)
- ・実務担当者会議の開催
- ・観光案内所運営者会議の開催

4. 観光人材の定着・育成・確保

- ・階層別研修
- ・専門家派遣によるハンズオン支援
- ・学生向け出前講座
- ・人材確保・定着に向けた実態調査
- ・産学官連携の取り組み
- ・「育人」サイトの運営・活用促進

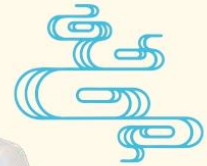




沖縄の魅力、
一緒に伝えませんか。



O K I N A W A
TOURISM AMBASSADOR



2026-2028

沖縄観光大使 募集



性別・年齢・
未婚既婚
問いません。

応募締切

5月8日(金)

同日必着



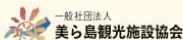
主催
申込先

一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー
〒901-0152 沖縄県那覇市宇小 1831番地1 沖縄産業支援センター2階

098-859-6126

総務企画部総務企画課
(平日9:00~17:00)

詳しくはコチラ→



沖縄県衣類縫製品工業組合

事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1 令和8年度奨学金代理返還支援事業	<p>県内中小企業の人材確保・定着を支援するため、企業が従業員に対して行う奨学金代理返還支援に対し、企業が負担する経費の一部を補助する。</p> <p>【対象企業】 1.沖縄県内に本社のある中小企業 2.従業員に対する奨学金返還支援制度を有していること ※その他条件についてはHPをご覧ください。</p> <p>【対象期間】 令和8年4月～令和9年3月</p> <p>【申請期間】 令和8年4月～令和9年2月26日（申請日の属する月以降に行った給付が補助対象）</p>	<p>全事業者 ※沖縄県内に本社のある中小企業</p>	<p>https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/keizai/1009879/1010143/1010156.html</p>	
2 令和8年度外国人材受入支援事業	<p>外国人材を受け入れたい企業を対象に、①相談窓口の設置、②セミナー、③マッチングイベントを実施する。</p> <p>【①相談窓口】 外国人雇用に関する悩み、企業の課題整理、解決策のアドバイス、また、必要に応じて行政書士等の専門家を派遣し、対面相談による複数回の伴走支援、企業の魅力発信を目的としたインターンシッププログラムの作成支援等を実施。</p> <p>【②セミナーの開催】 在留資格の制度概要、外国人材採用のポイントや流れ等について、企業、外国人留学生、県内の外国人労働者向けにセミナーを実施。</p> <p>【③マッチングイベント】 県内の大学・専門学校・日本語学校等の留学生が県内企業とマッチングできるよう、合同企業説明会（マッチングイベント）を開催。 ※詳しくは事業HPをご覧ください。</p>	<p>全事業者</p>	<p>https://www.yuiyui-gaikokujinzai.com/</p>	
3 令和8年度沖縄県所得向上応援企業支援事業	<p>稼いだ企業所得を従業員に適切に分配し、給与向上や正規雇用化に取り組む企業を認証する制度。これまで184社を認証。</p> <p>【対象条件】 沖縄県内での事業実績が1年以上ある法人又は個人事業者</p> <p>【認証基準】 ①給与支給総額の伸び率、②給与平均額、③時給増加額、④財務情報の開示、⑤正規雇用、男女雇用比率の開示</p> <p>【インセンティブ】 ①認証企業の広報PR（うまんちゅ広場やHP、認証式等） ②奨学金返還支援事業の補助額拡充 ③補助事業採択審査及び業務委託企画選定審査における加点 ④公庫金利優遇 ⑤認証企業が集まる交流会への参加 等</p> <p>【申請期間】 通年</p>	<p>全事業者</p>	<p>https://www.shotokukoj.o.okinawa/</p>	<p>商工労働部 雇用政策課 Tel. 098-866-2324</p>
令和8年度UIターン就職・転職・採用活動交通費支援事業（個人向け：ちゅらターン交通費補助金、企業向け：かりゆしビズターン交通費補助金）	<p>県外在住者の県内就職を促進するため、県内での就職・転職活動に係る交通費等の一部を補助する。 また、県内企業等が負担した県外在住応募者の採用活動に係る交通費等の一部を補助する。</p> <p>【対象者】45歳未満の県外在住者、又は、県内企業等</p> <p>【対象活動】①企業説明会、②インターンシップ、③採用面接、④移転</p> <p>【対象経費】1.交通費 2.宿泊費 3.移転費</p> <p>【補助額】対象経費×1/2 （個人：上限5万円/回、年度内3回まで申請可） （企業：採用人数1人以下上限15万円 採用人数2人以上採用人数×15万円）</p> <p>【申請方法】電子申請</p> <p>【申請期間】個人：活動の翌月10日（2月のみ3/31）までに申請 企業：年3回申請期限あり（7/31、11/30、3/31） ※UIターン就職相談マッチングサイト「りっか沖縄」への登録必須</p>	<p>公務員を除くすべての業種</p>	<p>https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/koyorodo/1012003/1034380.html</p>	

◇卸・小売・販売(会員様数:27) オリオンビール株式会社 くーすの社 忠孝蔵 まさひろ酒造株式会社 株式会社サンエー 株式会社ブラザハウス 株式会社奥原商事 パイフット株式会社 沖繩食糧株式会社 株式会社フジタクリイション 株式会社チエリオ沖繩 株式会社JTB商事 沖繩支店 サンリーフーズ沖繩株式会社 株式会社サッポロドラッグストアー 株式会社ホクガン 株式会社ジュネ 福山商事株式会社 有限会社比嘉酒造 瑞泉酒造株式会社 株式会社ジムキ文明堂 沖繩コカ・コーラボトリング株式会社 コジマ×ビックカメラ那覇店 株式会社エス・ティ商事 (株)サガミトレーディングオキナワ ecowana シヤチハタ株式会社 株式会社トーホー沖繩 株式会社ファッションキャンディ	◇人材派遣・翻訳・通訳(会員様数:9) 株式会社リクルートライフスタイル沖繩 株式会社ブレンディー 株式会社沖繩リレーションシップ 株式会社チャイナゲートウェイ 株式会社マイナビ 沖繩支社 株式会社沖繩コングレ 株式会社サポートスタッフ沖繩 株式会社グッドマンサービス 株式会社ヒト・コミュニケーションズ ◇学術・研究・コンサル(会員様数:7) 株式会社おきぎん経済研究所 株式会社DUO 株式会社エス・ピー・ネットワーク沖繩営業所 株式会社りゅうぎん総合研究所 公益財団法人日本交通公社(JTBF) オフィスKIBOU株式会社 ノイズ・パリュエ社 ◇企業・その他(会員様数:49) あいあいケーティング沖繩 (株)アメリティ 株式会社アイレント IMAGÉ 株式会社アルファスリー 沖繩ガス株式会社 沖繩セルラー電話株式会社 富士フィルムBI沖繩株式会社 沖繩総合警備保障株式会社 沖繩綿久寝具株式会社 株式会社DMC沖繩 株式会社桃原農園 那覇空港ビルディング株式会社 株式会社日進商会(MAJUN OKINAWA)	株式会社ビジネスランド 琉球警備保障株式会社 株式会社りゅうせき 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖繩支社 株式会社沖繩ダイケン 有限会社沖繩花火 株式会社住太郎ホーム 株式会社沖繩第一興商 株式会社ネオックスワン 美浜リアルエステート株式会社 リゾートベビースタターサービス ワールドキッズ 沖繩の風合同会社 吉本興業株式会社(よしもとエンタテイメント沖繩) レンタル琉装veni NPO法人那覇市街角ガイド 日琉リネンサプライ株式会社 コーユーレンタリア株式会社 沖繩営業所 株式会社IGLOO SYLジャパン株式会社 株式会社ゆがふホールディングス 沖繩体験エライカナイ 沖繩アリーナ株式会社 株式会社イノアック琉球 株式会社東洋設備 有限会社朝日興業企画 株式会社INFORICH 株式会社ジョイント沖繩 株式会社オーパス New Quest株式会社 那覇NICE救急クリニック 株式会社ウイルトック 株式会社テレビ朝日サービス 株式会社Onwords 花王プロフェッショナル・サービス株式会社 ライフジュニア日本語学院 リトルユニバース 株式会社沖繩伊藤園
---	---	--

OCVB 賛助会員募集中!

OCVBは、「沖繩観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献する」ことを基本理念としています。

●会員サービス

迅速な情報提供

- ①OCVBからの迅速な情報発信、相互情報発信を目的とした「賛助会員交流掲示板」への参加
- ②月1回発行「OCVB News」早期配信

PRする場のご提供

- ①OCVBサイト(当サイト)の「賛助会員情報」内における企業情報掲載
- ②OCVB交流サロンならびに東京事務所バンフレットラックの利用(無料)

各種イベントのご案内

- ①OCVB事業説明会・交流会
- ②OCVB新春の集い
- ③各種講演会、セミナーの開催

●年会費

基本会費：1口 50,000円

お問い合わせ先：OCVB 賛助会員事務局

TEL：098-859-6124 詳しくは、<http://www.ocvb.or.jp/organization/member>



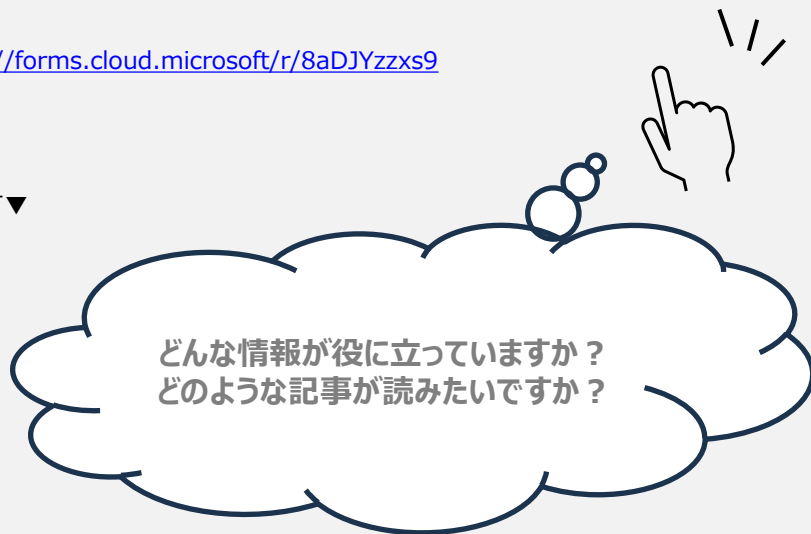
読者アンケート調査

最後までお読みいただき、ありがとうございます。OCVBではこれからも事業者の皆さまの役に立つ情報を発信し続けてまいります。ぜひ、皆さまのお声をお聞かせくださいませ。

＼より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。／

<https://forms.cloud.microsoft/r/8aDJYzzxs9>

▼こちらのQRコードからも回答いただけます▼



【読者アンケート調査】

※ご注意ください※本フォームへのご質問には回答できかねます。